

開拓の道を走ろう

当別町は2021年に150周年を迎えます。今年度は予定していた様々なイベントが中止となったことから、今後開催される150周年記念事業に向けた機運を高めるため、今回は開拓の歴史の第一歩、伊達邦直公の家臣団が初めて当別の地に到達した踏査の道を走ってみました。

今回チャレンジしてもらおうのは、当別町150周年記念事業実行委員会から、実行委員長の山田健太さん、副実行委員長の後藤尚範さん、事業部会の松岡宏尚さんと、サポートスタッフとして役場マラソン愛好家の高松さんと五東さんの5名です。

開拓の始まりは・・・

当別開拓の基礎を築いた仙台藩岩出山伊達家の領主達邦直公は、戊辰戦争の後、明治政府より1万4千石から65石の減封を言い渡されました。この俸禄では家臣を養うことができないため、北海道開拓に望みを託しました。

初めに移住した土地は厚田のシップでしたが、作物の育たない痩せた土地であることから代替地を願い出て、トウベツを紹介され、開拓に適する土地であるかどうかを確認する踏査を行うことにしました。

1回目は地図の不正確さと食糧の不足で失敗し、2回目でようやくトウベツに到達しました。

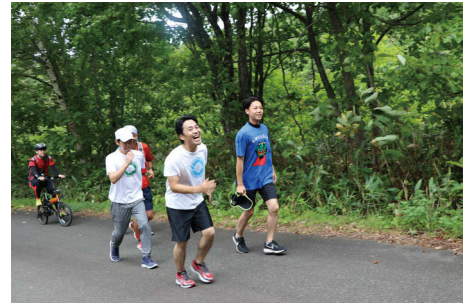
この踏査によりトウベツが肥沃な土地であることが確認され、開拓が進められることになったのです。



開拓の道を走ろう！
スタート！



記録によると…「～知津狩沢に入り進むこと二里余、地蔵沢付近に至りて露宿し、～」とあるので、できるだけ同じ道を辿るため、開拓の地碑から、国道231号を抜けて、知津狩川沿いの道を走り抜けます。



休憩後は高低差約 150m の林道「五の沢線」を一気に駆け上ります。ランナーの疲れ具合から、開拓の道の困難が伝わってきます。

小川の水源に出づ、
けだ今の西小川の水源なり

翌日高岡分水嶺を超え
更に進むこと二里余にして

地蔵沢附近に
至りて露宿し

休憩ポイント
パンケチュウベシナイ川源流



山を越えたところで、パンケチュウベシナイ川の源流に出ました。この川を下っていくことで当別市街に到達することができます。

休憩ポイント
地蔵沢馬頭観世音

当時の踏査隊が地蔵沢付近で一泊したので、ランナーの皆さんも地蔵沢馬頭観世音石碑前の広場で休憩です。



パンケチュウベシナイ川の源流



林道を抜け稲穂が揺れる弁華別を走る

一同望みを抱き流れに
沿ふて小川を下れば
果して広大なる森林に入る



旧弁華別小学校前の弁華別会館で休憩
満身創痍の山田実行委員長

一同喜ぶに限りなし、此夜、
今の弁華別附近に露宿する

休憩ポイント
旧弁華別小学校前



旧弁華別小学校前を走る実行委員長



パンケチュウベシナイ川に架かる橋を渡る

翌日早起、此小川を下り
ゆくゆく兩岸の地勢土質を檢し



六軒町の田園風景と共に走る



市街地を流れるパンケチュウベシナイ川

一里余にして今の市街地
当別川に達すること得たり

当別町

パンケチュウベシナイ川と当別川の
合流地点が踏査の終点のため、当別町
開拓記念樹前でゴールです。

ゴール
当別町開拓記念樹

約4時間半をかけて、24kmを走
り切りました。



開拓記念樹前の鳥居をくぐりゴール!



ランナーの皆さん、
お疲れさまでした!

開拓の歴史に興味を持った方はこちらもどうぞ

小説「石狩川」

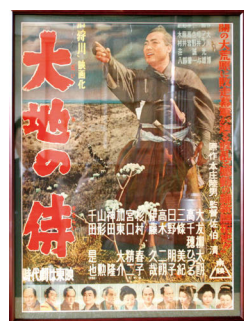
当別町出身のプロレタリア文学作家、本庄陸男の代表作。

伊達邦直主従の開拓における様々な苦難が、精巧な叙述で描かれています。

また、小説「石狩川」を題材に昭和31年には東映から「大地の侍」として映画化されています。



本庄陸男



「大地の侍」ポスター

当別町歴史漫画読本

紙ヒコーキに乗って

当別町130周年を記念して、当別青年会議所が、子ども達にもわかりやすく開拓の歴史を知ってもらうために、漫画読本として作成されました。読みやすく歴史がストーリーとして入りやすいので、入門編としておすすめです。



小説「石狩川」と「紙ヒコーキに乗って」は当別町図書館で閲覧・貸し出ししています。当別町150周年を迎えるこの機会に、当別町の開拓の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

▼当別町図書館 錦町1248番地7 学習交流センター内
開館時間 午前10時～午後5時
月曜（祝日の場合翌日）年末年始休館

歴史的な縁を持つ伊達市と 歴史兄弟都市盟約を締結します

伊達市と当別町は共通した開拓の歴史を持ち、伊達市は明治3年に仙台藩亙理伊達家の領主伊達邦成公が、当別町は明治4年に仙台藩岩出山伊達家の領主伊達邦直公がそれぞれ家臣と共に移住し、開拓しています。

また、伊達邦成公は伊達邦直公の実弟にあたり、婿養子として亙理伊達家に入っており、戊辰戦争後に兄弟で北海道に入植し、苦勞をしながら両市町の礎を築きました。

これまで両市町の間で大きな交流は行われていませんでしたが、近年、両市町のイベント等を通じた交流が進み、共に開拓から150年の節目を迎えたことから、10月9日（金）伊達邸別館において歴史兄弟都市盟約を締結することになりました。

調印式の模様はYouTubeの当別町公式チャンネルからライブ配信します。町ホームページから閲覧できますので、歴史的瞬間をぜひご覧ください。

▼配信日時 10月9日（金）11時30分から

▼問合せ 総務課総務係（23-2330）



会場となる伊達邸別館外観